



魚本 健人



安岡 善文

合理的・耐久的な都市システムの構築を目指して

サステナブル都市システム研究委員会

RC-39

1. 代表幹事

魚本健人 (東京大学 生産技術研究所 教授)
 安岡善文 (東京大学 生産技術研究所 教授)
 目黒公郎 (東京大学 生産技術研究所 教授)
 沖 大幹 (東京大学 生産技術研究所 助教授)
 大岡龍三 (東京大学 生産技術研究所 助教授)
 加藤佳孝 (東京大学 生産技術研究所 講師)
 須崎純一 (東京大学 生産技術研究所 講師)

連絡先

RC-39事務局(ICUS)
 Tel : 03-5452-6472
 Fax : 03-5452-6476
 e-mail : icus@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

現在、都市には様々な構造物が存在し、都市システムを形成している。都市の安全を考えるとあらゆる災害に対しても十分対処できるより合理的な都市システムとすることが必要である。一方、何時起こるかもしれない災害のために巨額の経費をかけることは望ましいとは言えない。また、例えば建設時にはこのような要求に見合うようなものであっても、経年劣化によりその安全性が脅かされるようになっていけぬ。

そこで、本研究委員会では、災害に対してより安全で耐久的な都市基盤を構築するために必要な技術開発の検討を以下のテーマで行っている。

- ① 老朽化構造物の寿命予測、簡易で精度の高い管理手法の構築
- ② 環境・災害の予測と対策を実行するために必要となるデータの抽出とその整理
- ③ 災害情報データベースの構築、耐震補強推進のための地震リスクファイナンス金融商品の開発
更に、新しい設計・施工方法や計測方法の開発を行う上で考慮すべき事項も検討していく。

3. その他

期 間 : 原則として2004年4月～2007年3月までの3年間とする。

年会費 : 1社当たり10万円/年とする。

運用方法 : 参加会社による現状調査、文献調査等を行うとともに、各分野の考え等を整理して新しい技術(ハード、ソフト)の開発すべき事項を抽出する。



橋梁の振動計測



LANDSATデータ(バンコク)
による環境総合評価指標抽出